



店名にもなっているPIGMENT（顔料）の入ったガラス瓶が並ぶ様子は圧巻だ。実際に棚から取り出して販売されるほか、ワークショップでも使用されている。

寺 田倉庫株式会社は「文化を、あなたと創る」をテーマに、「文創企業」をスローガンに掲げ、倉庫業を基盤としてアートの普及事業に幅広く取り組んでいる。「天王洲をアートの街に」という構想に基づく、東京のウオーターフロント地域天王洲アイランド。2015年、その中心地にオープンした「PIGMENT TOKYO」もそのひとつ。構想を相談した縁から、内装は隈研吾氏が手がけた。天井に使われている竹が波のように緩やかな弧を描く特徴的な造りだ。名前のPIGMENTは顔料を意味するフランス語。その名の通り顔料の入ったガラス瓶が並ぶ様子は同施設の顔となっている。顔料は天然顔料から、イタリアやドイツなど海外から取り寄せたもの

PIGMENT TOKYO

表現の可能性をつくり、ひろめ、つなぐ。

「今」を創る伝統画材ラボ。